

OS交配

ハウス

◎半促成：1月～2月播き

◎雨よけ：3月～5月播き

◎抑制：6月～8月播き

# エクセレント節成353

◎省力で多収・高品質、果長は終始極めて安定し、秀品率が高い。

◎強光線・高気温に適応し、夏播きでも高い節成り性。褐斑病にも強い。

★100g果で20～21cmとエクセレント節成1号・2号より短い！



株式  
会社

埼玉原種育成会

# OS交配 エクセレント節成353

**【特性】** 褐斑病に強く節成りで初期から多収 果形、収量構成ともに安定  
省力でテリのある高品質品種

適作型 主枝雌花率	ハウス半促成 1～2月播き 主枝着果率 60～80% 1～2果成り ハウス雨よけ 3～5月播き 主枝着果率 50～70% 1～2果成り ハウス抑制 6～8月播き 主枝着果率 40～50% 1～2果成り
茎	太く節間は、主枝で中位。側枝で中～短、孫枝で短となり、いずれも雌花連続性が高い。
葉	濃緑色でやや小葉。
果実	濃緑で光沢極良。トゲ中位。100g果で20～21cm。【エクセレント節成1号・2号より短い。】 首～肩まで良く整い、肩コケ・尻太が少ない。日焼け果が極めて出にくい。食味は良好。
草姿・草勢	葉が水平に展開し、過繁茂になりにくいスッキリとした受光性の良い草姿であるため、 長期に亘ってスタミナが維持される。
収量	早生で初期収量が多い。肥大が早く、シーズンを通して秀品多収。
耐病性	ベト、ウドンコ、特に褐斑病に強い。
備考	主枝成り性が強く肥大性が良いため、しっかりとした樹作りが必要。 太り始めたら早めにどんどん追い込むタイプ。つるボケになりにくい。

## 栽培のポイント

### ◆育苗

- ・鉢育苗では、リン酸を含む腐植の多い良質床土を準備する。定植時に鉢土が崩れない程度の育苗日数をとる。
- ・最適台木は、**OS交配ゆうゆう一輝（黒タイプ）**であり、高い生産力を発揮させる。

### ◆植え付け本数

- ・節成り性が高い品種であるが、あまり密植しない事がコツとなる。3.3㎡あたりなら4～4.5株程度。

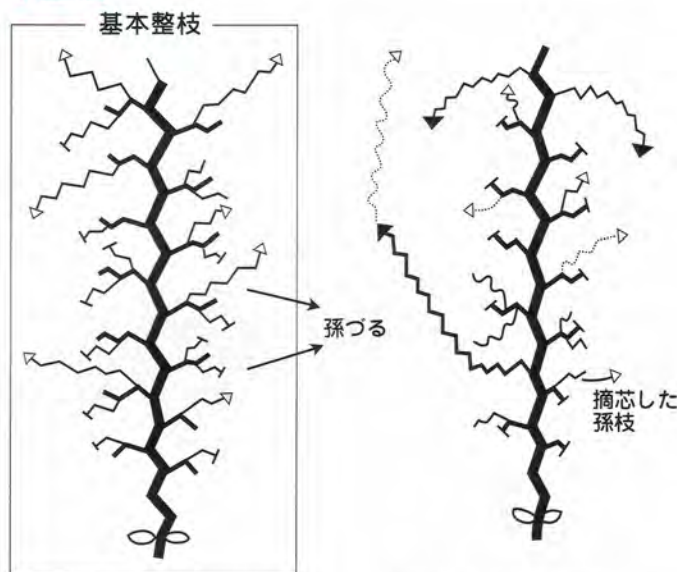
### ◆施肥

- ・元肥は、量や質は一般に準じて良い。バランスの良い肥効が、その後の草勢や品質・収量に影響するので、必ず施用前には土壤検定による施肥設計を行うと良い。
- ・追肥は、通常早めが良い。生育振りにも依るが収穫しようとする果実の開花より4～5日後、抑制では主枝の摘芯時等が追肥始めの目安となる。10aあたり、Nで1kg位を5～7日おきに施用すると良い。

### ◆灌水

- ・定植2～3日前に十分灌水しておき、定植当日に土中水分の過不足がないように準備する。定植後乾き易い抑制では、根量が増え日々生長が活発になってくるまでは多めの灌水をする。各作型とも旺盛に生育できるよう活着後も水を余り切らず、順調に側枝が発生し葉の展開がスムーズに行くよう適宜灌水していく。

### ◆整枝



①側枝は下節位を1節、中～上位節を2節で摘み、孫枝を半放任とする。

②中位節と上位節の側枝を1～2本伸ばし、孫枝は半放任。

※収穫開始頃から、常に伸び続ける枝を4～6本確保し続けると良い。

- ・収穫最盛期を過ぎる頃から、古い日陰葉や混み過ぎた部位を一回あたり1～2枚を限度として摘葉すると良いが、常に全体に巨り収穫果が見え隠れする程度に整える。



きゅうり・かぼちゃ・メロン育成元  
株式会社 **埼玉原種育成会**

〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616  
TEL.0480 (85) 0854(代)  
FAX.0480 (85) 0407



OS交配種子 発売元

株式会社 **シード**

〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616  
TEL.0480 (85) 7211(代)